

## 平成17年度 国立大学法人愛知教育大学 年度計画

### I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

#### 1 教育に関する目標を達成するための措置

##### (1)教育の成果に関する目標を達成するための措置

###### ①学士課程

###### ○教育の目標を達成するための具体的方策

- ・共通科目の教育においては、入学者の関心や能力の多様化が進行していることを踏まえ、大学教育の目標をより効果的に達成するために、学習の動機づけや学習意欲の向上を図り、自己学習能力の主体的な形成を主眼とした「大学における学び」に転換する教育を各授業が担い、その実効を高めるため、少人数教育も検討する。
- ・教員養成諸課程においては、教科に関わる学術や教育学・心理学等の知識と認識方法及び表現方法といった学術的知及び問題解決を共に目指す臨床的知を修得し、専門的力量の土台を身につけさせる。こうした専門的力量を持つ教員の養成を展開するため、以下の4点を重視した教育を展開する。
  1. 教養教育の充実  
本学は、教員養成課程の学生に対し、教育・子ども・人間に関わる学術的知と臨床的知を獲得する場を提供するため、教師教育の「基礎専門科目」を教養教育に新しく位置づけることを検討する。また、系統性ある教養教育とするため、現行の基礎科目と主題科目からなる教養科目と学芸諸課程の課程内共通科目(国際理解教育・生涯教育・情報教育・環境教育)及び教職に関する科目の一つである総合演習との有機的連携等を図る。
  2. 教育科学・教科内容学・教科教育学の充実と相互の連携  
教育科学と教科学(教科内容学と教科教育学で構成)の充実と相互の連携を進め、教科学と教科に関する専門科目との連携・相互補完を確立する。
  3. 教科専門科目の充実  
教職を目指す学生が、知の現場に立会い、専門学術分野の方法・発想を踏まえて、教科の力を自ら評価し充実発展させることのできる教育を推進する。
  4. 実践的指導力の育成
- ・現行の学芸諸課程は、存在する様々な問題の解決をはかるため、学生定員の見直しを含め、改組するなど、新しい学部 of 構想を含め、早急な対応を具体化する。
- ・学士課程卒業生を対象とした「特殊教育特別専攻科」は、維持・発展の可能性を検討する。

###### ②大学院課程

1. 諸専攻・領域における教育研究の一層の充実、各専攻の学生定員の見直しを行い、定員充足率の向上を目指す。
2. 他大学大学院との連携による教育研究の一層の充実  
院生の多様な要望に応え、より充実した教育研究を可能にすることを目的として、近隣の大学院教育学研究科との間での単位互換の制度を整える。
4. 留学生教育の充実  
留学生に対する教育研究の援助をより充実し、広く世界の国々における学校教育等の充実発展に貢献する。
6. 大学院博士課程の新設  
学校現場の事情を熟知し、教育実践を理論的に支える研究者並びに教育実践に優れた指導力を有する教育専門職者を育成することを目的とし、教育実践に深く関わる博士課程の設置を推進する。

##### (2)教育内容等に関する目標を達成するための措置

###### ○学士課程

###### ①アドミッションポリシーに応じた入学者選抜を実現させるための具体的方策

- ・編入学生枠を設けるなど、編入学制度の見直しを検討する。

###### ②教育課程に関する目標を達成するための措置

- ・個々の授業の教育目標及び教育内容と本学の教育目標とが相互に的確な関係となっていることを恒常的に自己点検する。
- ・平和、人権、ジェンダー及び障害者に関する教育の充実を図る。

###### ③教育方法に関する目標を達成するための措置

- ・自己学習課題の設定、学生参加型等の多様な授業形態の追究、視聴覚機器・電子メディア等を活用した教育方法の改善を行う。

- ・授業改善を目的とした授業ごとの担当教員の自己評価、学生による授業評価を実施する。
- ・教育改善に資するようGPA制度の導入を検討する。
- ・他大学との単位互換制度の一層の整備・充実を図る。

## ◎大学院課程

### ①アドミッションポリシーに応じた入学者選抜を実現させるための具体的方策

- ・留学生への入試情報は、ホームページを活用し英文で広報する。

### ②教育課程に関する目標を達成するための措置

- ・授業科目ごとに教育の目標、内容、方法、評価などを明記したシラバスを作成する。

### ③教育方法に関する目標を達成するための措置

- ・マルチメディアを利用した授業形態(遠隔授業等)の拡充を図る。
- ・近隣大学の大学院との単位互換制度の導入を図る。

## (3)教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置

### ①充実した教育を実施するための教職員の配置に関する具体的方策

- ・教員養成諸課程については、教師教育に関わる研究を進める。
- ・学芸諸課程については社会のニーズに応えるため、教育組織の見直しの検討を行う。
- ・大学院の夜間授業においては、その実態を把握し、非常勤講師の配置・任用を含め教員の適正配置や、教育研究の活性化のための教員の分業体制の確立を図る。

### ②教育環境の整備に関する具体的方策

- ・附属図書館においては、施設・設備の充実、教育研究用の図書資料の充実を図るとともに、一般市民及び大学院の昼夜開講コース等の利用サービスの充実を図る。
- ・学生・院生に対する教育活動、附属学校との教育研究の連携、サテライト教育等遠隔地との情報ネットワークを高度化するための情報システム設備・機器の整備を推進する。

### ③教育の質的改善のためのシステム等に関する具体的方策

- ・「21世紀教育創造センター」において教育課程等を恒常的に研究・開発する。
- ・授業内容・方法の改善活動(FD)においては、学生による授業評価を反映させるとともに、教育責任単位ごとの企画・運営への学生参画により、一層の充実を図る。
- ・大学教育研究に関する共同研究や全国的・国際的な研究交流を推進する。

## (4)学生への支援に関する目標を達成するための措置

### ①学習支援に関する具体的方策

- ・ネットワーク利用による教務情報提供システムの充実を図るとともに、休講情報は携帯メール・教務情報はホームページで伝達するシステムを実施する。
- ・指導教員制度を整備・充実する。

### ②生活支援に関する具体的方策

- ・あらゆるハラスメントに対応できるよう相談室の整備などを含め体制を整備する。
- ・就職支援のための組織・機能の整備を図る。

## 2 研究に関する目標を達成するための措置

### (1)研究水準及び研究の成果等に関する目標を達成するための措置

#### ①目指すべき研究の方向性

現代社会、特に現代の教育に係る諸問題の解決を目指して、各研究者が多様な学問分野において基礎的な研究を行い、真理を探究するとともに、各種共同研究を実施して個別の研究成果を総合し実践的研究を積み重ねる。

#### ②大学として重点的に取り組む領域

初等・中等教育及び社会教育の理念・内容・方法に関する領域について重点的に取り組み、創造的な研究成果を生み出すことを重視する。また、その成果を基に教育の個別的・具体的内容やそれを児童生徒に提示するための教材開発などを含む教科内容学の展開を図る。

#### ③成果の社会への還元に関する具体的方策

社会に対して意見の公表や助言等を行う。

### (2)研究実施体制等の整備に関する目標を達成するための措置

#### ①研究者等の適切な配置に関する具体的方策

- ・学校教育を含む教育分野の今日的課題に対応できるように、附置センター及び講座の構成と研究者の再配置を検討する。

#### ②研究環境の整備に関する具体的方策

- ・研究に必要な設備等の活用・整備に関する具体的方策  
研究施設・設備備品等の学内資産については、研究活動と教育活動が有機的に連動できる

ような在り方を再検討して、効率的な活用を促進するとともに、共同利用の積極的推進やプロジェクト研究への機動的な利用も検討する。

### 3 その他の目標を達成するための措置

#### (1) 社会との連携、国際交流等に関する目標を達成するための措置

##### ③ 国際交流・協力等に関する具体的方策

・ホームページを活用し、入試情報を公開し、留学生の種別、学部・大学院別及び専攻毎に「求める学生像」を明確にする。

#### (2) 附属学校に関する目標を達成するための措置

##### ① 附属学校の在り方に関する具体的方策

必要に応じて組織の改革を検討する。

教育実践総合センター等の担う役割と附属学校等の組織関係を明確にする。

##### ② 入学者選抜に関する具体的方策

実験校(教育研究校・教育実習校)として、各附属学校の教育目標に即した児童・生徒の育成を目指して、募集する。第一次選考として面接を含む適性検査を行い、第二次選考として抽選を行うことによって入学者を選抜する現在の方法を更に工夫する。附属高校は、推薦及び学力試験により選抜を行う。

##### ④ 学校運営の改善に関する具体的方策

校長をはじめ附属学校の教職員構成・体制及び経営については、(1)実験校、(2)教育充実、(3)教員の研究等の要求、(4)地域貢献と教育委員会や市民等との連携、といった諸点より検討し改善する。

実験校にふさわしい校長を選任するため、大学はその選考基準等を定める。また、附属学校の教育研究目標を達成するため、大学は、関係機関との協議に基づき、教員の選考基準を定める。

## II 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置

### 1 運営体制の改善に関する目標を達成するための措置

#### 2 教育研究組織の見直しに関する目標を達成するための措置

・教育研究組織の編成・見直しに関する具体的方策を、委員会を設けて検討する。特に、教師教育を柱とする学部・大学院の教育課程の改革、学芸諸課程の組織改革(学生定員の移動を含む学部化、学科化)及び大学院の量的質的整備を図り、その中で研究組織の在り方について検討する。

・機動的で機能的な組織編成の観点から、研究組織(講座)の編成や運営について教育研究の有機的結合を図るなど見直しを行い、優れた研究成果を創出するため、学内での協力共同の研究体制作りを検討する。

#### 3 教職員の人事の適正化に関する目標を達成するための措置

##### ① 柔軟で多様な教員人事制度の構築に関する具体的方策

・大学教員一人ひとりの教育研究の特殊性に鑑み、教育・研究・管理運営・社会貢献に関わる活動について、多面的な教員評価システムを検討する。

##### ③ 給与制度と人員管理の整備・活用に関する具体的方策

・教職員の雇用の安定と身分保障を図りつつ、本学の教育研究上の新たな充実方策に対応して、弾力的な教職員の配置ができるシステムを構築する。

## III 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置

### 2 経費の抑制に関する目標を達成するための措置

・施設・設備の効率的使用について、計画的に点検し、改善等の措置を講じ、建物等の有効活用を推進するとともに、維持保全に必要な経費の見直しを行い経費の抑制を図る。

・物品リユースを推進するとともに、共同利用物品の集中管理体制の整備を検討し、経費の抑制を図る。

・事務部門の業務の合理化・効率化を推進し、重複事務の点検や業務のアウトソーシングにより、人件費等の管理的経費の抑制を図る。

#### 3 資産の運用管理の改善に関する目標を達成するための措置

土地、建物、設備等の固定資産の有効活用を推進するため、常に既存施設等の点検見直しを行うとともに、経営的視点による保有施設等の地域開放を積極的に実施する。

## IV 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置

### 1 評価の充実に関する目標を達成するための措置

①自己点検・評価の改善に関する具体的方策

自己点検・評価体制を整備し、教育研究及び組織の改善状況を総括し、学内外に公表する。

②評価結果を大学運営の改善に活用するための具体的方策

点検評価された結果をフィードバックし、速やかな改善につなげるためのシステムを強化する。

2 情報公開等の推進に関する目標を達成するための措置

③学術情報システムの構築に関する具体的方策

ホームページに掲載されている教育研究に関する情報、また好評を得ている「学校教育支援データベース」の一層の充実を図る。

V その他業務運営に関する重要目標を達成するためにとるべき措置

1 施設設備の整備・活用等に関する目標を達成するための措置

①施設等の整備に関する具体的方策

- ・施設マネジメントの導入を図り、快適な教育・研究環境づくりを計画的に推進する。
- ・施設等の自己点検・評価により、効率的な機能保全及び維持管理を計画的に実施する。
- ・本学が東海地震対策強化地域にあるため、耐震診断結果に基づき、耐震補強・老朽施設の改善・整備の計画的実施を図る。

②施設等の有効活用及び維持管理に関する具体的方策

- ・共通スペース等の整備を計画的に実施し、有効活用と狭隘化の解消に努める。
- ・施設の維持管理計画を策定し、施設等の機能回復を図る。

2 安全管理と環境保全に関する目標を達成するための措置

①「健康安全・環境保全センター(仮称)」が、学内における学生や教職員の安全管理・健康管理と環境保全に関するヘッドクォーターとしての役割を果たし、安全・環境保全に関わる諸活動を行う。

VI 予算(人件費の見積りを含む。), 収支計画及び資金計画

別紙参照

VII 短期借入金の限度額

①短期借入金の限度額

13億円

②想定される理由

運営費交付金の受入れ遅延及び事故の発生等により緊急に必要となる対策費として借り入れることも想定される。

VIII 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画

重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画はない。

IX 剰余金の使途

決算において剰余金が発生した場合は、学生生活支援の充実、教育研究環境の整備及び組織運営の改善に充てる。

X その他

1 施設・整備に関する計画

(単位 百万円)

施設・設備の内容	予定額	財源
校舎改修	総額 565	施設整備費補助金(565)
小規模改修	総額 35	国立大学財務・経営センター 施設費交付事業費(35)

注)金額は見込みであり、中期目標を達成するために必要な業務の実施状況等を勘案した施設・設備の整備や老朽度合等を勘案した施設・設備の改修等が追加されることもある。

## 2 人事に関する計画

### 方針

大学教員一人ひとりの教育研究の特殊性に鑑み、教育・研究・管理運営・社会貢献に関わる活動について多面的な教員評価システムを検討する。

### 人事

教職員の雇用の安定と身分保障を図りつつ、本学の教育研究上の新たな充実方策に対応して、弾力的な教職員配置ができるシステムを構築する。

(参考1)平成17年度の常勤職員数 611名

また、任期付職員数の見込みを6名とする。

(参考2)平成17年度の人件費総額見込み 5,957百万円(退職手当は除く)

(別紙) 予算 (人件費の見積りを含む。)、収支計画及び資金計画

1. 予算

平成17年度 予算

(単位: 百万円)

区 分	金 額
収入	
運営費交付金	5,058
施設整備費補助金	565
国立大学財務・経営センター施設費交付金	35
自己収入	2,572
授業料及入学金検定料収入	2,530
雑収入	42
産学連携等研究収入及び寄付金収入等	61
計	8,291
支出	
業務費	7,630
教育研究経費	6,006
一般管理費	1,624
施設整備費	600
産学連携等研究経費及び寄付金事業費等	61
計	8,291

「施設整備費補助金」は、前年度よりの繰越額565百万円

[人件費の見積り]

期間中総額5,957百万円を支出する。(退職手当は除く)

2. 収支計画

平成17年度 収支計画

(単位：百万円)

区 分	金 額
費用の部	7,700
經常費用	7,700
業務費	7,289
教育研究経費	870
受託研究費等	21
役員人件費	79
教員人件費	4,854
職員人件費	1,465
一般管理費	325
財務費用	0
雑損	0
減価償却費	86
臨時損失	0
収入の部	7,700
經常収益	7,700
運営費交付金	5,039
授業料収益	2,079
入学金収益	318
検定料収益	77
受託研究等収益	21
寄附金収益	38
財務収益	0
雑益	42
資産見返運営費交付金等戻入	86
資産見返寄附金戻入	0
資産見返物品受贈額戻入	0
臨時利益	0
純利益	0
総利益	0

### 3. 資金計画

平成17年度 資金計画

(単位：百万円)

区 分	金 額
資金支出	8,463
業務活動による支出	7,614
投資活動による支出	677
財務活動による支出	0
翌年度への繰越金	172
資金収入	8,463
業務活動による収入	7,691
運営費交付金による収入	5,058
授業料及入学金検定料による収入	2,530
受託研究等収入	21
寄付金収入	40
その他の収入	42
投資活動による収入	600
施設費による収入	600
その他の収入	0
財務活動による収入	0
前年度よりの繰越金	172

別表（学部の学科, 研究科の専攻等）

教育学部	初等教育教員養成課程 1, 240人 中等教育教員養成課程 420人 障害児教育教員養成課程 100人 養護教諭養成課程 160人 国際理解教育課程 520人 生涯教育課程 380人 情報教育課程 360人 環境教育課程 320人 計 3, 500人 （うち教員養成に係る分野 1, 920人）
教育学研究科	学校教育専攻 54人（うち修士課程 54人） 国語教育専攻 14人（うち修士課程 14人） 英語教育専攻 18人（うち修士課程 18人） 社会科教育専攻 28人（うち修士課程 28人） 障害児教育専攻 24人（うち修士課程 24人） 数学教育専攻 22人（うち修士課程 22人） 理科教育専攻 34人（うち修士課程 34人） 芸術教育専攻 38人（うち修士課程 38人） 保健体育専攻 16人（うち修士課程 16人） 家政教育専攻 18人（うち修士課程 18人） 技術教育専攻 10人（うち修士課程 10人） 養護教育専攻 6人（うち修士課程 6人） 学校教育臨床専攻 18人（うち修士課程 18人） 計 300人（うち修士課程 300人）
特殊教育特別専攻科	知的障害教育専攻 30人
附属名古屋小学校 附属岡崎小学校 附属名古屋中学校 附属岡崎中学校 附属高等学校 附属養護学校 附属幼稚園	840人 学級数 21 帰国子女 45人 学級数 3 720人 学級数 18 480人 学級数 12 帰国子女 45人 学級数 3 480人 学級数 12 600人 学級数 15 60人 学級数 9 160人 学級数 5 計 3, 340人 学級数 92 帰国子女 90人 学級数 6